

マイナビと AtCoder、電通が 日本における先端 IT 人材の不足解消を 目的とした業務提携契約を締結

～学生競技プログラマー向けの就活支援サイト「AtCoder Career Design」を11月30日にローンチ～

プログラミングコンテストを運営する AtCoder 株式会社（本社：東京都新宿区/代表取締役社長：高橋直大、以下 AtCoder）と、株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区/代表取締役社長：中川信行）が運営する就職情報サイト『マイナビ』と株式会社電通（本社：東京都港区/代表取締役社長：五十嵐博）は、国家課題となっている先端 IT 人材の採用・育成の分野において、各社の保有する人的資源、知的資源等を活用し連携・協力することによって、日本における先端 IT 人材の不足を解消することを目的とした業務提携を締結しました。その取組みとして、先端 IT 人材として活躍が期待される競技プログラマーの就職・採用を支援するプロジェクト「AtCoder Career Design (<https://career.atcoder.jp>)」を11月30日に開始することをお知らせいたします。



■背景

世界中の企業で高度なスキルをもつプログラマーの需要が高まっている一方、2030年には先端的なスキルを持つ IT 人材は約45万人不足すると推定されています*。

社会全体のデジタルトランスフォーメーション（DX）化が加速し、先端 IT 人材の採用・育成が日本においても喫緊の課題になっています。

※経済産業省「IT人材需給に関する調査」(https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/houkokusyo.pdf)

■業務提携の目的

AtCoder のプログラミングコンテストで活躍する日本人競技プログラマーは、難関大学の情報系・理系学生が多く、先端的な研究開発を行うスタートアップ企業などで目覚ましい活躍を遂げています。その卓越したプログラミング能力に IT 業界、金融業界、物流業界などの多くの企業から注目が集まっています。

また競技プログラマーの実力を示す「AtCoder レーティング」は、IT エンジニア採用時にプログラミングスキルの実力証明として、IT 業界ではデファクトスタンダードとして用いられています。

本プロジェクトでは、AtCoder がもつ人材プラットフォームと、マイナビがもつ学生・企業ネットワークを掛け合わせ、電通がコミュニケーション全体のビジネスプロデュースを行うことで、先端 IT 人材の担い手となる競技プログラマーの就職支援と、企業の競技プログラマー採用支援の両面から、先端 IT 人材不足の解消を目指します。

■アクション

- ・競技プログラマー向けの就職支援サイト「AtCoder Career Design」
- ・AtCoder が開催するコンテストの販売
- ・検定公式検定本の出版（マイナビ出版より）

- ・ 合同説明会等の就職支援サービスの共同開発
- ・ 学生に向けたキャリアガイダンス

就職情報サイト『マイナビ』について

日本最大級のインターンシップ・就職情報サイト。学生・企業のより良いマッチングに向けた情報を提供。掲載企業は、大手企業から中堅・中小企業、地方企業まで幅広く網羅。自己分析、筆記試験対策から選考対策まで、目的に応じた就活ノウハウを発信しています。また、視聴者参加型プログラムや、業界&仕事研究のための動画講座など PC・スマホで視聴&参加可能な WEB 配信プログラムも充実しています。

『マイナビ 2021』 URL : <https://job.mynavi.jp/2021/>

『マイナビ 2022』 URL : <https://job.mynavi.jp/2022/>

AtCoder 株式会社について

AtCoder 株式会社は、206,108 人（うち日本人 113,734 人）が参加登録し、毎週開催される定期コンテストには約 11,000 人が挑戦する、日本最大の競技プログラミングコンテストサイト『AtCoder (<https://atcoder.jp/>)』を運営しています。その他にも、高度 IT 人材採用・育成事業として、コンテスト参加者の成績を 8 段階にランク付けした「AtCoder ランク」を利用する転職・求職支援サービス『AtCoderJobs (<https://jobs.atcoder.jp/>)』や、IT 人材のプログラミングスキルを可視化できる検定『アルゴリズム実技検定・PAST (<https://past.atcoder.jp/>)』のサービスを展開しています。